

令和4年度第5回理学療法講習部会 議事録

参加者：藤、成田、山本、石橋、落合、菅野 欠席者：森、山内 書記：藤

日時：2023年3月14日 19:00～ 場所：Zoom meeting（オンライン会議）

議題

①3/18 講習会について

<当日役割分担>

- ・司会、入室管理、メール、トラブル対応、受講証明等

②今年度の振り返り

理学療法士講習会 7/24 腰痛予防・理学療法最前線

- ・451名の参加となり同数受講証明を認めた。

講習部主催の講習会 3本実施予定

- ・11/13 摂食・嚥下リハビリテーションPT・ST ジョイントセミナー：370名の参加、内ST29名参加。
同講習会からQRコードを使用しての受講証明となった。
- ・1/29 脳卒中理学療法最前線：226名の参加で県士会会員は無料、他府県会員は1000円の受講料を同講習会から固定としたが、無料の県士会員の未受講が多かった。県外187名参加。
- ・3/18 切断・義肢理学療法最前線：今後の開催のため参加者は現在のところ不明。

新人対象講習会

今年度外部へ委託実施。2/4に脳卒中（甲南女子大 野添先生）、3/5に運動器（あんしんクリニック 米家先生）でそれぞれ対面にて開催となった。

<今年度活動に関する問題点>

新人対象講習会

- ・事務所との税処理に関する対応があった。講習部に税処理の窓口となる担当者を置くことの提案があった。
- ・当部の講師料設定等に関する規定やマニュアルが準備できなかった。
- ・計画書作成時に修正が多くあったことから例示が必要であった。

他講習会

- ・運営については概ね問題はなかったが、各講習会の決定に時間を要したことで年度末まで講習会を設定せざるを得なくなった。日程設定について年度末は講師によって厳しいため、早めの設定が必要。
- ・引き続き、宣伝活動の方法は課題。講習会や講師の魅力をどのように伝えてくかが重要。県士会のHP、協会のHPの広報だけでは不十分と思われる。

<次年度活動に向けた改善点>

新人対象講習会

- ・講習部内で税処理担当を置くのは厳しいため、対応を再度検討。
- ・講師費の設定等、マニュアルを作成する。実技に関する謝金規定が県士会には存在しないため、協会規定に順じて作成する必要があるが、学術局で検討してもらう。
- ・円滑な計画書作成のため、例示を作成予定。

他講習会

- ・各講習会の内容決定を効率化するため、テーマが決まった段階で担当を決め、次回に向け内容を検討する。
- ・SNS（特に Twitter）を活用して情報収集や周知を図るケースが増えている。部員内でも数名 Twitter を利用しているため、広報の一環として活用していく。
- ・広報戦略会議との協力体制
→SNS の活用（部でのアカウント作成）については現在、広報戦略会議メンバーに確認中

③次年度の事業について

6本の事業を予定

1. PT 協会主催の理学療法講習会 骨粗鬆症・転倒予防理学療法最前線 7/30
 - ・4月に入って正式に依頼文送付予定。
 - ・講師の了解が取ればアーカイブ配信に向けた対応も実施予定。
2. 講習部主催の講習会 登録・認定・専門 PT の点数/ポイント申請ができる内容（3本）※下記参照
 - ・講師の了解が取ればアーカイブ配信に向けた対応も実施予定。
 - ・今年度より講習会企画を円滑に進めるため各講習会での担当を配置。
3. がんのリハビリテーション研修
 - ・昨年度は未開催となったが、次年度は開催となるよう担当理事中心に担当者へコンタクト予定。
4. 新人対象講習会（2本）→外部委託を継続
 - ・計画書作成や講師料についてはこちらの準備不足も否めない。終了後アンケートも好評だったことも考慮し継続開催の方向で進める予定。
5. 令和6年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラム 申請
6. 認定・専門理学療法士の取得率向上のための広報活動

<講習会候補に挙げた領域>

以下の3テーマで検討することとなった。

・腎臓リハ

関わっている PT もまだまだ少ないことが予想されるため、ベーシックな内容でどうか

・産科、骨盤底機能障害のリハ

思春期・高齢者など年齢層をある程度限定するか

アスリートに限定すると受講者が限定されるため、部活などスポーツに関わる女性の評価を交えるか

・評価尺度

概念など学術的な内容、評価方法や結果に対する解釈はどうか、分野は CVA となるか

④次回への検討事項

- ・講習会 3 テーマに関する内容を検討し、提案できるように準備を進める。
- ・次回部会を 4 月中旬に予定。

以上